

明治大学校友会
東久留米地域支部会報
第十七号(令和元年9月)

令和元年度
東久留米地域支部定時総会
二十九名の校友が参加



元号が令和に改まり祝賀ムードにあふれる五月二十五日(土)明治大学校友会東久留米地域支部の定時総会が成美教育文化会館で開催されました。当日は心地よい薫風の中を市内の

校友、多摩支部の柳沢幹事長をはじめ近隣の地域支部の来賓の皆様を含めて二十九名の方が参加されました。

定時総会は午後一時半に長谷川役員司会が始まり並木役員開会の辞。校友物故者へ謹んで黙とう捧げた後、東久留米地域支部の義江支部長が「母校明治大学と当地域支部の現況報告と支部設立十年目に向けての抱負」を語り挨拶としました。

来賓の紹介に続き義江支部長が松江副支部長を議長に指名し定時総会の議事に入りました。報告事項として川島役員より平成三十年度の事業報告があり、次に審議事項として平成三十年度の決算報告が江波役員より説明されました。それに関連した会計監査が倉田役員より報告されました。続いて令和元年度の事業計画案が川島役員より、同収支予算案が江波役員より提出説明され、報告・審議事項とも異議なく全て承認されました。



長の各氏。報告事項として会計幹事・

次に各役員二年の任期終了にと

もない令和元年度役員(幹事)の改選案が提出され審議事項として支部長・副支部長・監査委員の各氏。承認事項として幹事長・副幹事

総務幹事・広報幹事・事業幹事・地域幹事の各氏がそれぞれ異議なく改選されました。(役員一覧は下記を参照ください)以上で総会議事は滞りなく終了し、来賓の挨拶に多摩支部柳沢幹事長から最近の明治大学の話題・校友会についてのお話をいただき、当支部の伊藤幹事長の閉会の辞で総会第一部を無事に終了しました。



第二部は全員の記念撮影から始まり次にアトラクションとしてお馴染みの立川志獅丸師匠による落語が一席披露されました。師匠紹介では当地域支部の最長老である片柳先輩(昭和二十四年法卒)が志獅丸師匠の真打昇進を祝福しました。お

楽しみのお懇親会は川島役員の軽妙な司会のもと小平地域支部の土井支部長の乾杯の音頭で始まりました。来賓のテーブルを囲むように配置された席にはオードブル・寿司・ビール・ワインなど盛り沢山の飲み物や料理が並び食べ飲みな

がら親睦の輪が広がり深い絆が生まれました。半ばで清瀬地域支部粕川幹事長・村山地域支部野口副支部長よりお話をいただき、また新役員の抱負があり、最後に當麻役員指揮によるエールの交換と全員が立ち上がり肩を組み母校明治の校歌を高らかに斉唱して閉会といたしました。

●令和元年度の新任の役員(幹事)

地域支部長	義江邦夫(昭39・商)
副支部長	永倉聡一(昭26・工)
副支部長	松江康司(昭49・法)
幹事長	伊藤謙一(昭46・経営)
副幹事長	峯岸文男(昭46・院農)
総務担当	島津進一(昭55・工)
同	田淵幹夫(昭57・商)
会計担当	並木文子(昭57・商)
広報担当	夏目忠(昭32・商)
同	川島英明(昭63・政経)
事業担当	倉田易生(昭37・法)
同	長谷川正次(昭51・商)
同	柴田威(昭58・法)
女子会担当	江波洋子(昭37・短経)
地域担当	當麻一哉(昭61・工)
同	小関裕弘(昭32・政経)
監査	橘素子(昭57・法)
監査	大原康雄(昭61・政経)

(役員の任期は二年間)

●第16回明球会ゴルフコンペ

13名が参加して開催

新役員の田淵さん(昭57・商)優勝

令和元年初の東久留米地域支部主催の第16回明球会ゴルフコンペは6月5日(水)埼玉県の児玉カントリー倶楽部に13名が参加して行われました。



当日

は心地よい薫風の中、で熱戦が繰り広げられました。練習の効果が

でた田淵さんがネット72のパープレイで初優勝の栄に輝きました。準優勝は峯岸さん(昭46・院農)。ベストグロスは86の倉田さん(昭37・法)。今回も小平地域支部から岡本さん(昭35・商)岸川さん(昭42・工)新座市より加茂さん(昭35・経)が参加され親睦を図りました。プレイ終了後にクラブハウスの二階で表彰式と懇親会が開かれ各人のゴルフの話題や近況報告がなされ楽しい懇談の場となりました。



義江支部長より優勝の栄を称えられた田淵さんは「倉田先輩の指導のおかげでゴルフを始めて初の優勝と1

00を切る事ができ大満足です。明球会のますますの発展に寄与したい」と語ってくれました。(写真の右が田淵さん)倉田幹事より第17回の明球会は11月6日(水)児玉カントリー倶楽部で開催の案内があり再会を約してお開きとなりました。今回も会の運営で倉田さん賞品の手配に当たってくれた峯岸さん、前回優勝の小関さんよりニアピン賞として商品券の寄付などお礼申し上げます。東久留米地域支部のゴルフ明球会は競技ゴルフではなくあくまでも親睦ゴルフですから初心者から上級者まで和気あいあいの楽しいゴルフがモットーです。興味のある方はぜひ11月のゴルフにご参加をお待ちいたします。

●第17回明球会ゴルフコンペ

11月6日(水)児玉カントリー倶楽部

校友の皆様に参加をお待ちします。

●お問合せ 倉田まで

私のゴルフ人生

●ホールインワンとエイジシュート達成

倉田易生(昭37・法)

私がゴルフを始めたきっかけは新卒で入社して3、4年頃。約半世紀前の事になります。たまたま隣の部署に東京教育大(現・筑波大)ゴルフ部出身の先輩が居て、その影響を受けました。当時社内ではゴルフの出来る人はほとんどいなく何かにつけ彼のレクチャーを受け半年ほど直接指導を受けました。そしてマナーを徹底してたたき込まれました。最初は止まっていたボールを打つので簡単な事だ



と思うつつ練習を始めたのですが、どうしても、とんでもない飛ばない真すぐ行かない本当に難しいと思いました。しかしその内慣れてくると、やればやる程、奥深さを感じさせられ、又面白さも倍増してやみつきとなりました。それから真摯に向き合い練習を続けました。これ迄に色々な方々と色々なコースで一緒に練習させて頂きましたがゴルフは本当に人生を楽しく豊かにさせてくれます。

ゴルフには素晴らしいものがあります。①老若男女を問わずハンデキャップがあるのと同じのフィールドでプレイが出来る。②ゴルフを通して仲間の和が広がる。③ラウンドすることにより健康増進につながる。これからも少しでも長くゴルフが出来る様にと毎日20分余りのトレーニング(腹筋、

背筋、スクワット、ストレッチ等々)欠かさない様に続けています。これがまた健康維持にも適っていると思います。

ゴルフを始めて50年余りになりますが真摯に努力しながらゴルフに取り組みたいろいろなことが起きます。世界中のゴルフアーの夢であるホールインワンとエイジシュートの両方を私は達成しております。

ホールインワンは平成30年10月24日大分県の別府ゴルフカントリー鶴見コースで達成。エイジシュートは76歳の平成27年6月の明球会のコンペの75ストロークで達成したのを皮切りに平成29年5月の大宮国際で78歳の78ストローク。同年の6月小平地域支部のコンペで78ストローク。平成30年別府の扇山コースで79歳の78ストローク。平成最後の31年に明大摩支部主催のコンペに参加して80歳の歳より8ストローク少ない自分でも驚異的な72ストロークで達成しました。

この様に5回もエイジシュートを達成していますがほとんどが6千ヤード前後の短いコース設定で私向きのコースです。全てのスコアカードを同伴者のサインを頂いて大切に保管してあります。これは私の宝物になっています。このところ年を重ねる毎に体力も落ち飛距離も往事に比べ2番手も違ってきました。でもこの年代になると結果はどうであれ元気で楽しく18ホールを回れることが何よりで完走できた事に感謝しなければとの結論に至りました。それは今、健康である左証でもあるのです。有難うゴルフ。

(写真は多摩支部のゴルフコンペで72で優勝の倉田さんと優勝カップ)



●令和元年・総会スナップ

上段右より受付・エールの指揮
義江支部長・全員で校歌斉唱
下段右より落語の一席・校友
物語者へ黙祷・恒例明大募金
箱へ献金の志獅丸師匠（右）



折りで実現し、パンのお土産までいただきました。
この度の見学会は同社出身の義江支部長のお骨
ン市場の過半数以上を占めるトップ企業です。
搬車が新鮮なパンを毎日食卓に届けています。武
蔵野工場は昭和38年操業。同社は売り上げでパ
ン製パンは昭和23年創業。北海道から熊
本まで全国に工場を配置して二千五百台のパン運
搬車が行き届き感動した」との感想。
●山崎製パンは昭和23年創業。北海道から熊
本まで全国に工場を配置して二千五百台のパン運
搬車が行き届き感動した」との感想。

最高品質を追求する姿勢をうかがい知る
ことが出来ました。見学後、校友は「職員や
現場の作業員の礼儀正しい対応と食品・安全
衛生管理が行き届き感動した」との感想。
●山崎製パンは昭和23年創業。北海道から熊
本まで全国に工場を配置して二千五百台のパン運
搬車が行き届き感動した」との感想。

後、食品工場ならではの全員が白キヤップ、マ
スク、白のコートなどに身を固め衛生対策を
万全にして工場に入り、パン製造過程の見学
となりました。まず主力の食パンのラインの
見学から始まり菓子パン・ペストリーのライ
ンと続きその合間に出来立ての商品の試食
のサービスを受けました。パン生地は作業機
から焼きあがるまでの一連の自動大型機によ
る作業は目を見張るものがある一方、菓子パ
ンの風味を出すための人力による作業など
が焼きたてのパンの味を追求する姿勢をうかがい知る
ことが出来ました。見学後、校友は「職員や
現場の作業員の礼儀正しい対応と食品・安全
衛生管理が行き届き感動した」との感想。

●散策の会
山崎パン武蔵野工場
パンの出来るまでを見学
さる六月二十二日（土）梅雨の最中を市内
柳窪に東京ドームの1.5倍の面積を誇る山
崎製パン株式会社武蔵野工場を十九名の校
友とその家族が訪れてパンの製造過程を見
学いたしました。
当日は全職員か
ら拍手で暖かく迎
えられ一旦、会議室
に入り同社原田武
蔵野工場長様から
会社の概要、武蔵野
工場の現況の説明
を受けました。その
後、食品工場ならではの全員が白キヤップ、マ
スク、白のコートなどに身を固め衛生対策を
万全にして工場に入り、パン製造過程の見学
となりました。まず主力の食パンのラインの
見学から始まり菓子パン・ペストリーのライ
ンと続きその合間に出来立ての商品の試食
のサービスを受けました。パン生地は作業機
から焼きあがるまでの一連の自動大型機によ
る作業は目を見張るものがある一方、菓子パ
ンの風味を出すための人力による作業など
が焼きたてのパンの味を追求する姿勢をうかがい知る
ことが出来ました。見学後、校友は「職員や
現場の作業員の礼儀正しい対応と食品・安全
衛生管理が行き届き感動した」との感想。



●随筆・明治大学と私

片柳文夫



旧制中学生の時に終
戦を迎えた私は自由な
時代を謳歌しようとい
学進学を決意し苦手な
数学がない明治の法学
部を選びました。

サークル活動は興味のあつた犯罪学研究所
（通称犯研）に入部。部室は旧記念館講堂
の最上階ドームの中になりました。戦後間
もない大学は元戦争の勇士が復学し独特の
殺気だつ雰囲気教室に満ちていました。
ある日、犯研の先輩の命令で資料を謄写
版刷りをしてしていると元学徒兵の先輩より警
視庁へ行き自警誌を受け取ってこいと言は
れました。私は「仕事です」と断ると空
き室に連れて行かれ「足を開いて立て」「歯
を食い縛れ」「俺は特攻の生き残りだ。お前
らに馬鹿にされてたまるか」と云つて鉄拳
が飛んできました。手拭で頬を冷やして帰
宅しましたが、私も旧制中学生の頃に軍人勅
諭などを暗記する事で配属将校から散々殴
られました。平和な時代を迎えた大学で
殴られるとは本当に驚きました。

戦後の食糧難の時代に母が玉蜀黍の粉を
御粥状に作ってくれた弁当を教室で食べて
いたところ栃木の農家出身の学友が見かね
て、翌日に鞆一杯に米を詰めて差し入れて
くれたのも有難く涙がこぼれる思い出です。
授業が終わると必ず新橋で下車し銀座に
向かいます。これには訳があつて駐留の米
兵達の露天での買物に跡をつけ英語のやり
取りを聞き英会話の勉強の足しにしました。
いつしか簡単な会話が出来た様になり、明
大祭の時は刑事博物館の展示品の説明を犯
研の一員として米兵達に英語で話した思い
出も昨日のように思われます。

九十歳になった今、明治大学の思い出だ
けはしっかりと心に留めておきたいと思う
今日この頃です。（昭和24・法）水川台

●東久留米役員会たより

4月13日第九四回役員会・11名出席
多摩支部関係では役員改選年に当り支
部長、副支部長・幹事長の就任予定者の
名が明かされる。会則の改定についての
説明。近隣地域支部の総会へ出席の役員
の確認とその他。当地域支部関係では定
期総会の詳細については次回の役員会へ
持越し。散策の会で「山崎パン武蔵野工
場」が決定し、日程の調整。立川志獅丸
真打披露落語会へ出席者を募る。

5月11日第九五回役員会・15名出席
義江支部長より七月開催の多摩支部定
時総会へ参加の要請。多摩支部傘下の合
同コンペに当支部の倉田役員が優勝の報
告。当地域支部の定時総会について詳細
の打ち合わせを行う参加者30名の予定。
山崎パン見学会の日程と参加者の決定。
明大和泉校舎見学会は6月15日に決定。
6月8日第九六回役員会・12名出席
近隣地域支部の総会へ出席の役員より
内容報告。7月の多摩支部総会へ6名参
加予定。5月開催の当地域支部定時総会
の感想と反省を各人から発言。おむね
好評の意見が占める。8月の立川志獅丸
の真打披露会へ8名が参加予定。倉田明
球会幹事より6月5日のゴルフコンペの
報告。広報担当より総会の報告を兼ねた
会報17号は9月25日頃発行予定。

7月13日第九七回役員会・12名出席
義江支部長より多摩支部役員会の報告
本部校友会会長に北野明大名誉教授が就
任予定。来年の全国校友大会は香川県高
松市に決定。来年の多摩支部総会の担当
地域支部が決まり義江支部長が大会実行
委員長に就任。当地域支部関係では設立
10周年事業を令和3年実施に決定。来
年の総会は5月23日（土）を予定。新
会員勧誘の件で協議。17号広報につい
て9月14日見本紙提出。同24日（火）
発送を確認。役員会の提案により8月31
日夕方より納涼親睦会を市内で開催。

（8月の役員会は休会）

●明治大学校友会東京都多摩支部
定時総会を7月7日に開催

257名の校友が参加

当地域支部の上部組織である東京都多摩支部の令和元年度の定時総会は7月7日(日)午後1時より立川グランドホテル4階の大宴会場に東久留米からの7名を含め257名の校友が参加し3部構成で開催されました。



第1部は総会に先立ち「人は深いふれあいの中で自己を知る」のテーマで明治大学文学部諸富祥彦教授による公開講演会が開かれました。臨床心理の理論を軸に人との繋がりを実践手法を交えたもので出席者が大変魅了いたしました。

第2部の総会は開会のことは、支部長挨拶、ご来賓紹介に続き明治大学を代表して会田文学部長が学術・国際化・スポーツなどあらゆる面で明治の躍進ぶりを披露していただきました。議長選出後、議事に入り第1号議案から6号議案を満場一致で承認され、新支部長に小平地域支部所属の當麻功氏(昭39・商)が選ばれ、令和初の定時総会も無事終了しました。



第3部の懇親会にご来賓の祝辞、校友会東京都西部桜井支部長による乾杯。各地域支部ごとに中華料理の円卓が用意されて祝宴に入りました。アトラクションとして明治大学ビッグ・サウ



ンド・ソサエティ・オーケストラ演奏がジャズを中心に会場を盛り上げました。この間、各地域の校友との親睦が図られ、最後に輪になり肩を組み校歌を三番まで斉唱。明治大学・多摩支部の万歳三唱で閉会となりました。この日の七夕は雲に隠れましたが、来年の再会を楽しみに帰路につきました。

●校友会本部からのお知らせ
第55回全国校友千葉大会

10月6日(日)千葉市で開催

年に一度、全国各地の校友が一堂に会し旧交を温める明治大学校友会主催の「全国校友大会」が来る10月6日(日)千葉市・幕張メッセを大会会場として開催されます。10月5日の前夜祭は東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートでイベントを交えながら懇親会皆様の参加をお待ちいたします。

お問合せは義江まで

第22回ホームカミングデー

10月27日(日)駿河台キャンパス

校友やその家族・友人を母校に迎えるホームカミングデーは駿河台キャンパスで開催されます。全校友対象のどなたでも自由に参加できる一大イベントで毎年多くの校友や家族が参加。駿河台キャンパスの各会場で講演会やコンサート、物産展など母校の発展を目的のあたりにし充実の一日を過ごすことができます。当日の開会式など特別招待は次の年卒の皆様が事務局からご自宅へ招待状が送られます。

昭和34年卒・昭和44年卒・昭和54年卒
平成11年卒・平成11年卒・平成21年卒

東久留米地域支部

催しものご案内

●明治大学和泉キャンパス見学会

10月19日(土) 東久留米駅西口
ロータリー9時集合

6月の豪雨で延期された母校和泉校舎の見学会です。多くの校友の参加をお待ちいたします。和泉校舎は最新の設備を誇るメディアア棟や滞在型の図書館・国際混住寮など話題の建物を見学予定です。お問合せは・・・
峯岸・倉田まで

●第17回親睦ゴルフコンペ

11月6日(水) 児玉カントリー倶楽部

恒例の秋の親睦ゴルフコンペは爽やかな秋風が高原を抜ける11月6日に埼玉県北部の児玉カントリー倶楽部で開催されます。健康で楽しいゴルフをモットーのゴルフコンペですから初心者も上級者も一緒になって親睦が図られます。お問合せは・・・
倉田まで

●ラグビー同好会

明早戦を指定席で応援

12月1日(日) 秩父宮ラグビー場

昨年日本一に輝いた明治のラグビー部は令和に入っても好調を維持し春季の大会では全戦全勝でシーズンに入りました。伝統の一戦を校友と共に指定席で応援観戦しませんか。お申込み・お問合せは・・・
小関まで

●中止と延期のお知らせ

前号でご案内しました10月19日・女子会企画の「市内河川流域の遺跡を歩く」は諸般の事情により明春に延期となりました。

*地域支部の報告とお知らせ

●納涼飲み会を開催

8月31日(土)夕方5時より東久留米駅前中華料理屋の大連に役員幹事13名が集まり納涼飲み会を開きました。当日は夕涼みがてら女子幹事も参加され、近況報告・秋のスポーツの話題など話されました。

●七月の清瀬茶室句会へ三名参加

・細見道子主宰選

炎昼や船が舟曳く隅田川 文夫
暗闇に指の触れたる蜜狩 康司
滴りのやがて潤す千枚田 忠

●明大サポーター募金箱について

今年も東久留米地域支部の定時総会の席で校友の皆様にご協力を頂きました募金箱に二万五千三百五十円集まりましたので早速担当者を通して明治大学キャンパス整備サポーター基金へ寄付されました。ご協力ありがとうございました。

●校友の當麻さん市議員に当選

さる4月21日に行われた東久留米市の市議会議員選挙に立候補された当地域支部役員幹事の當麻さん(昭61・工)が多くの人から信任を得て当選されました。初出馬ながらの当選で市政での活躍が期待されます。

●訃報のお知らせ

山口達夫氏(昭35・政経)が6月26日に逝去されました。享年82歳。山口氏は東久留米地域支部の設立に大いに尽力され平成二十三年六月の設立総会で支部長に推挙され四年間にわたり会の運営・発展に尽くされました。謹んでご冥福をお祈りいたします

明治大学校友会東久留米地域支部会報

第17号令和元年9月30日発行

発行責任者・義江邦夫・編集川島・夏目